

# コミュニティ・カーシェアリング 実践ガイドブック vol.2



イラスト・漫画 / FUMIO OBATA  
デザイン / 宮本 悠合



石巻発、寄付車でつくるやさしい未来

日本カーシェアリング協会  
Japan Car Sharing Association

## ❁ もくじ

● 第1章『コミュニティ・カーシェアリング』ってなに?.....	3
● 石巻で生まれた『コミュニティ・カーシェアリング』.....	4
● 『コミュニティ・カーシェアリング』を始めた人の物語.....	6
● 『コミュニティ・カーシェアリング』の特徴.....	8
● こんな地域におすすめ.....	10
● 実践されている皆さんの紹介.....	11
● 法律について.....	12
● 災害時の役割.....	14
● 第2章『コミュニティ・カーシェアリング』を始めよう!.....	15
● 『コミュニティ・カーシェアリング』を始めた地域の物語.....	16
● 導入の流れ.....	18
● CCSコーディネーター.....	19
● 協力体制について.....	20
● 石巻での地域連携.....	21
● 運営のための取り決め.....	22
● 経費と精算.....	23
● 車について.....	24
● 旅行に行こう!.....	25
● 大切なこと.....	26
● Q&Aコーナー.....	28
● 挑戦したい地域が挑戦できる環境を作る.....	30
● 第3章 資料編.....	31
● データでみる『コミュニティ・カーシェアリング』.....	32
● 利用者インタビュー.....	34
● 導入サポートプログラムについて.....	38

# 第1章

## 「コミュニティ・カーシェアリング」ってなに？

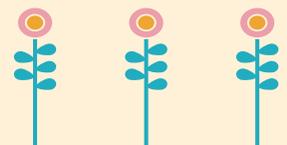
この冊子の案内役の  
CCSコーディネーターのマキです。  
私の隣は日本カーシェアリング協会キャラクターの  
スートンとローリーと仲間達です。  
よろしくお願いします。



ローリー

スートン

※スートン（石）とローリー（巻）  
で石巻になるのです。



# 石巻で生まれた

# 『コミュニティ・カーシェアリング』

『コミュニティ・カーシェアリング』が始まった経緯と活動の概略をお伝えします。



東日本大震災の際、  
石巻では約6万台の車が被災し



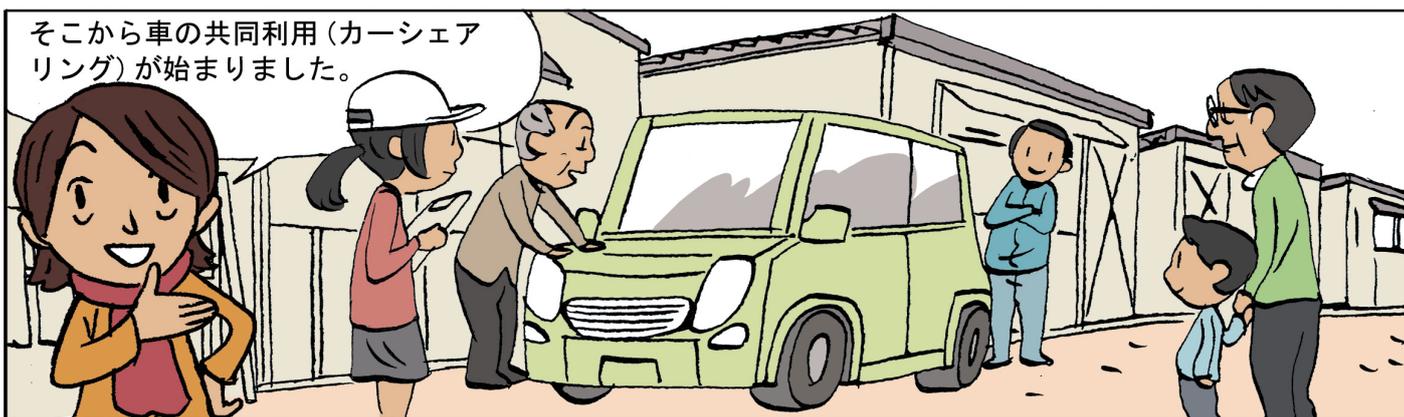
車が圧倒的に  
足りなかった。



一般社団法人  
日本カーシェアリング  
協会は全国の個人・  
企業から車の  
寄付を募り、

そして、多くの方々が  
移動に困っていた。

仮設住宅  
等に届け...



そこから車の共同利用（カーシェア  
リング）が始まりました。



ただし、ここで  
行われたカーシェア  
リングは、巷のカー  
シェアリングとは  
ちょっと違うの  
でした。



経費負担の仕方

鍵の管理

予約の仕方



利用する人達でルール  
と役割を決めて運営  
していったのです。

それぞれが無理なく  
できる範囲で協力  
しました。

すると、会話が生まれて

今日はいい  
天気ですね～

あっ、そうそう  
鍵を貸してください

助け合いが生まれて

お婆さん、  
病院まで乗せて  
ってあげるよ!

交流も増えました。

震災から8年以上たった今、この仕組みは  
石巻に根付き、広がり続けています。

更に移動に課題を抱える様々な地  
域で実践されるようになりました。

FROM  
石巻

地域コミュニティ（ご近所さん同士）  
がカーシェアリングを運営する  
ことで...

無理せず  
楽しみながら

支え合う地域をつくり

気がつけば移動の  
問題も解決されている。

そんな地域の  
サークル活動  
...

それを  
「コミュニティ・  
カーシェアリング」  
と呼ぶようになりました。

MADE  
IN  
石巻!



このガイドブックは

様々な地域で  
『コミュニティ・  
カーシェアリング』を  
実践していただけるように  
石巻で8年間積み重ねて  
学んだエッセンスを整理して  
紹介していきます。

はじまり、  
はじまり～

# 『コミュニティ・カーシェアリング』 を始めた人の物語





# 『コミュニティ・カーシェアリング』の特徴

『コミュニティ・カーシェアリング』一般的なカーシェアリングとは大きく異なります。その特徴についてご紹介します。

## ✿ 主な3つの特徴



### 1. 目的は「支え合う地域づくり」。

～楽しい地域のサークル活動として車を柔軟に活用～

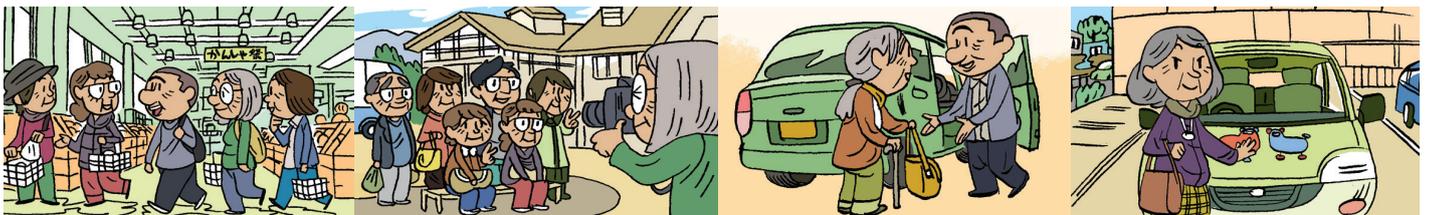
『コミュニティ・カーシェアリング』はご近所同士で車を一緒に活用し合う地域のサークル活動です。一般的なカーシェアリングとは違って、地域コミュニティが運営し、支え合う地域づくりを目的としながら、柔軟に車を活用します。

乗り合い買い物&ランチ

旅行

外出支援

たまに使いたい人が使う



### 2. 地域の人たちで運営する。

～ルールと役割はおちゃっこで決める～



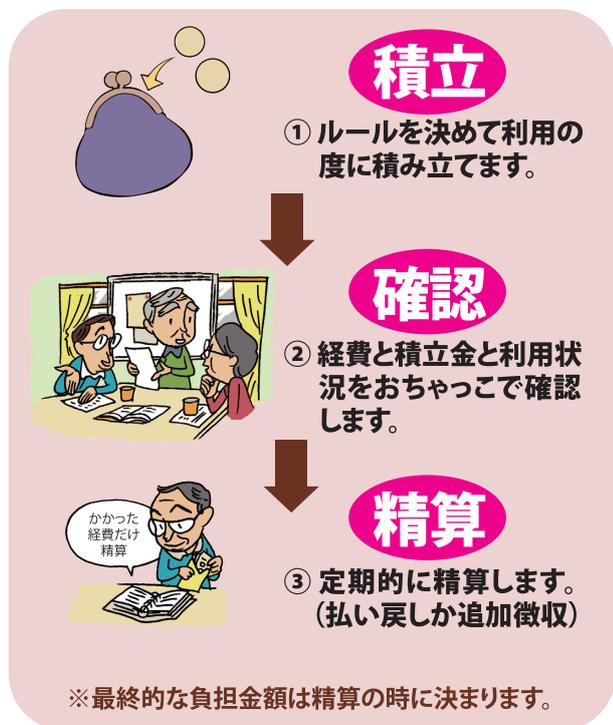
毎月集まっておちゃっこ※を開催し、運営状況を確認したり、ルールを決めたり、次の旅行の予定を立てて、自分たちで役割を分担しながら運営します。最初は雛形のルールに基づいて活動が開始しますが、時間の経過とともに地域に合わせたオリジナルな形へ自然にカスタマイズされていきます。※お茶を飲みながらお菓子や漬物などを食べつつおしゃべりする東北独自の文化であり方言。



### 3. 経費は実費を平等に分担。

～定期的に精算しながら運営～

車の維持費、燃料代、駐車場代、役員手当等の経費を会員が利用頻度に応じて平等に分担しています。日々の運営のためにルールを決めて積み立てを行い、定期的に精算を行いながら経費実費を分担する仕組みで運営しています。



- 積立ルールの一例**  
(各カーシェア会毎に異なります)
- 日常の外出支援 : 5km毎 500円 ※上限2,500/日
  - 個人利用 : 5km毎 500円 ※上限2,500/日
  - 買物ツアー : 600円/人
  - お出かけツアー : 行き先や内容によって変更 (1,000円+実費程度/人)

積立のルールは運営を考えたおちゃっこで決めています。(必要に応じて変更を加えています)

活動が活発になればなるほど払い戻しが増えてみんなで節約できます。

### ✿ ポイントは活動の組み合わせ

サロンとツアーと外出支援を組み合わせ、持続可能な支え合い活動を作ることが基本としています。更に、地域独自の活動をプラスすればより地域の実情に合った活動となります。



# こんな地域におすすめ



『コミュニティ・カーシェアリング』でできること、できないことをご紹介します。



## \* こんな地域におすすめ

- ・ 移動に課題を抱えている。
- ・ 移動支援を行いたいと思っているが、やり方がわからない。
- ・ 既に助け合いが行われているが、やり方や持続性に不安を感じている。
- ・ 将来が不安。
- ・ 地域の結束を固めたい。
- ・ 地域の日常に楽しみを増やしたい。



## \* 得意なこと

- ・ 地域のサークル活動なので気軽に始められる。（公的な申請や調整が不要）
- ・ 無理なく楽しく運営できる。
- ・ 移動に困っている人が自然に助かる。
- ・ 地域活動に協力的な人材を発掘できる。
- ・ ルールが整理されるため、困っている人が依頼しやすく、協力したい人が協力しやすい環境になる。
- ・ 様々な地域が実践している活動で、且つアドバイスを受けるながら始められるため、安心して活動を行える。
- ・ 目的や役割が明確なため男性も比較的参加しやすい。
- ・ 手当の支給等を行うことで持続可能な活動にしやすい。 ※送迎行為に対する手当支給はNG。
- ・ 既存のコミュニティ活動を活かせる。
- ・ 活動が幅広いため様々な分野での政策連携の可能性がある。



## \* 苦手なこと

- ・ ボランティアドライバー等協力者の都合を最優先するため、事業者のような安定したサービスを提供できない。
- ・ 事業で利益を生むことができない。
- ・ ドライバーはプロではなく、善意のボランティアになる。
- ・ お客さんではなくなる。  
（利用者は活動の趣旨と仕組みに賛同し参加するサークル活動のメンバーの一員となる）
- ・ 利用者の地域が限定される。



# 実践されている皆さんの紹介

「コミュニティ・カーシェアリング」を実践している  
公認「コミュニティ・カーシェアリング」会員\*の皆さんをご紹介します。



## 11 地域 約 300 名の方々が実践 (平均年齢 74 歳) 2019 年 5 月現在

吉野町カーシェア会



新西前沼カーシェア会



中央カーシェア会



門脇カーシェア会



不動町カーシェア会



三ツ股カーシェア会



大門カーシェア会



渡波カーシェア会



新立野カーシェア会



石巻以外の  
地域で実践  
されている  
皆さん ▶

しちょう会  
(岡山県美作市)



小鳥の森カーシェア会  
(岡山県岡山市)



\*公認「コミュニティ・カーシェアリング」会員とは、日本カーシェアリング協会のサポートの元、適法の範囲内で適切に「コミュニティ・カーシェアリング」の運営が行われているグループです。(P38でも紹介しています)

## \* グループにはこんなタイプがあります。

### 個人利用型

車の個人利用や外出支援の割合が高いタイプ。人口が比較的多い場合やボランティアドライバーの人数や協力頻度が高い場合にこのタイプになりやすい。

### 集合住宅型

石巻では仮設住宅や復興住宅を中心に行ってきたため基本的にこのタイプとなる。車までアクセスしやすいため個人利用が行われやすい。

### 企画型

買い物ツアーや旅行等の乗り合いでのお出かけ企画が活動の中心となるタイプ。ボランティアドライバーの人数や活動頻度が限られている場合や旅行好きの方がメンバーにいる場合等にこのタイプになりやすい。

### 過疎地域型

一回の移動の単位が大きいため、ボランティアドライバーの1回あたりの負担は大きくなるが、分担する経費が比較的高くても不満が出る場合が少ないため、ルール設計をしっかりと行えば、運営しやすい側面もある。

各地域のより詳しい活動状況はP32、33の「データでみる『コミュニティ・カーシェアリング』」をご参照ください

# 法律について



適法の範囲の中で実施するために法律についての整理をご紹介します。

## 「コミュニティ・カーシェアリング」 を始める前に押さえておきたい法律

### ＊ 道路運送法第2条第3項 では

「他人の需要に応じ有償で自動車を使用して、旅客を運送する事業を旅客自動車運送事業である」

### ＊ 道路運送法第80条第2項 では

「自家用自動車は、国土交通大臣の許可を受けなければ、業として有償で貸し渡してはならない。」

### ＊ 旅行業法第3条では

「旅行業又は旅行業者代理業を営もうとする者は、観光庁長官の行う登録を受けなければならない。」

と規定されており、該当する場合には同法に基づく許可を得ることが必要です。



対価を受け取る送迎行為  
対価を受け取る車の貸出行為  
不特定多数を対象としたツアー行為  
は許認可がなければ  
やってはいけません。

「コミュニティ・カーシェアリング」は仕組みを作り上げる際、東北運輸局並びに国土交通省へと繰り返し相談・協議を行い、許認可を必要とせず、適法性と運用しやすさを両立できるシンプルな仕組みの確立を模索し、次ページの「5つの注意」として整理しました。



# 法律を遵守するための5つの注意

1

## 移送や車の貸出しに偏らない

会員同士で予めルールを定め、移動・防災・旅行等イベントの実施・シェアリングによるコミュニティの形成といった総合的な目的を実現するための地域の互助活動の一環として実施してください。



2

## 適切に費用を分担する

事前に、又は利用時等に会員から集めた会費は定期的に精算し、利用頻度等に応じて適切に経費を分担・負担することが重要です。



3

## 利用形態によって負担額に差を作らない

自分で運転して車を利用する人と地域の方に運転の代行をお願いして車を利用する人の間で会費の額などに差が生じると「送迎における対価」とみなされるため注意しましょう。



4

## ボランティアドライバーへの謝礼を定めない

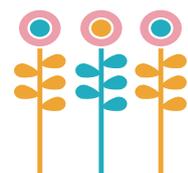
燃料代・駐車場代等実費を除き、ボランティアドライバーへの謝礼は換金性のない物品や自発的に行なわれる謝礼といった一部の例外を除いて原則認められません。但し、会計係やイベント運営など会全体の運営に関わる役員や役務に対して、運転行為の対価ときちんと区別して手当てを支払うことには問題はありません。



5

## 旅行は参加資格を限定する

お出かけを企画して参加者を募集する際は同じ地域に住む会員もしくは会員から紹介を受けた者等、顔見知りの範囲内で実施し、不特定多数に募集しないようにしましょう。



# 災害時の役割



『コミュニティ・カーシェアリング』が災害時に果たす役割をご紹介します。

『いつもやっているから、非常時に活かせる。』

災害時、移動に困る方がたくさん現れます。

地震や水害の時、車を被災する方、交通の便の良くない場所で避難生活を送られる方等、移動に困る方がたくさん現れます。一方、被災された方々は片づけ・買い物・役所の手続き等、必要な用事が多くあるため、自由に移動できない環境の中だと困り果てた状況となります。

そんな時、限られた車を融通し合ったり、乗り合いで移動する『コミュニティ・カーシェアリング』が大変役立ちます。

また、災害時に最も頼りになるのは地域の助け合いです。日頃の『コミュニティ・カーシェアリング』の活動で助け合いの素地が育まれていれば、災害時に様々な面で活かされることでしょう。

さらに

電気を供給できる車を活用すると  
いざという時にも活かされます。



電気自動車やプラグインハイブリッド車等は車に搭載しているバッテリーを非常用の電源として活用できます。『コミュニティ・カーシェアリング』でそうした車を活用し、日常の活動の中で電源として使用することで、いざという時にもフルに活用できるようになります。

## 石巻事例 自治体との防災連携

石巻市と日本カーシェアリング協会は2018年8月に「災害時の相互応援協定」を締結し、災害時に避難所への車の設置や電気自動車など電気を供給できる車の非常用の電源活用を協働して実施することになりました。『コミュニティ・カーシェアリング』を実践しているグループは優先的に電気自動車を配備し、毎年11月には協働して訓練を実施しています。(2018年度は10地域で訓練が実施されました)



防災訓練の様子

# 第2章

## 『コミュニティ・カーシェアリング』

を始めよう！



# 『コミュニティ・カーシェアリング』 を始めた地域の物語



来年度からバスが減便になります。

それは困った。

市の職員

何とかしないと...

しかし、様々な壁が立ちはだかるのでした。

この地域はスーパーや病院から離れてて、更に高齢化が進んでいる。

よし、地域で移動支援活動を行おう！

どーん!!

事故の時どうすれば？

法律は大丈夫？

どんなルールで？

よし、自分たちで住民バスを運営しましょう。

おおっ

しかし、こちらも様々な壁が立ちはだかるのでした。

どーん!!

地域の合意形成は？

採算はとれる？

どうしたらいいの？

CCSコーディネーターが定期的に地域を訪問し、導入をサポートしてくれるらしい。

話を聞く機会を作りましょうか？

お願いします！

こうして、小さな勉強会が開催されました。

関心ある人達で、無理せず取り組むサークル活動です。

そう言えば、石巻の『コミュニティ・カーシェアリング』ってのが気軽に始めることができるらしいよ？

もし、皆さんが自立運営を目指して取り組むなら、地域の支え合い作りのための補助金で自治体もバックアップできますよ。

挑戦します！

こうして、サポートが始まりました。

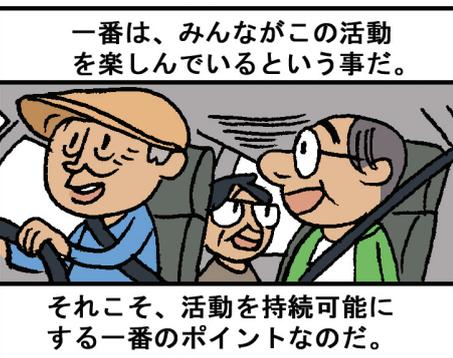
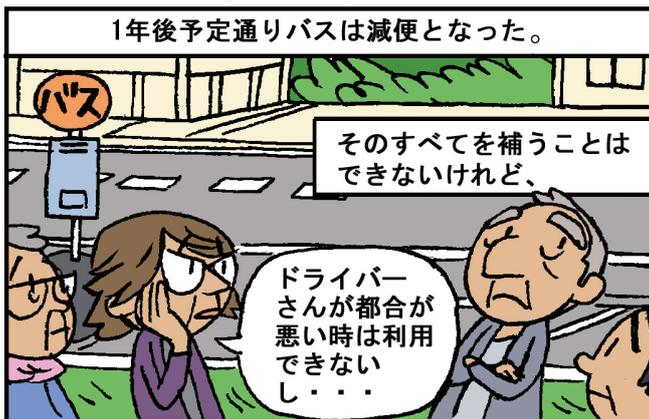
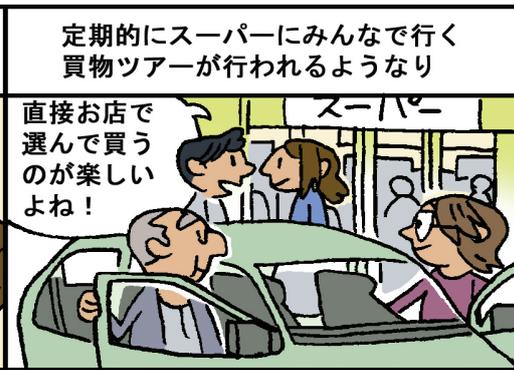
みなさんにテストで使っていただく車です！

おお。

石巻で使っているルールや書式を使って1カ月テスト運行が始まりました。

便利さや楽しさを体感！

お手伝いを体感！



# 大切なこと

『コミュニティ・カーシェアリング』を  
行ううえで大切なことをご紹介します。



私たちCCSコーディネーターはこの取り組みを行うための方法をお伝えし、活動に使えるツールを提供します。

でも、この取り組みを継続して発展させるために一番大切なことは他にありません。

それは皆さんの中にある心です。

何だと思えます？

**1つ目は、気遣う気持ち**

ゴミを持ち帰る

シートを位置を戻すなど

次の人が気持ちよく使えるように

みんなができることを持ち寄って実施している活動です。

誰かがわがままを通そうとするとそのバランスは崩れてしまいます。

求めすぎず、常に感謝の気持ちを持って、みんなで決めたルールをきちんと守って取り組むことが大切です。

いつもありがとう。

**2つ目は、前向きな姿勢**

ピンチはチャンス！

現実にはなかなか漫画のようにうまくいきません。必ずそれぞれの地域特有の課題が生じます。

それであきらめるのではなく、機会をとらえる姿勢が大切です。

新しい仲間を募ったり、活動を始めたり学びを得たりしながら、「チャレンジする楽しみ」に変えていただきたいのです。

よし、楽しい旅行を企画してメンバー増やすぞ！

アイエー！！

**3つ目は、おあらかね心**

ま、これぐらいは大目に見るか

様々な個性を持ったメンバーが集まって活動が行われます。そんな中、細かいことを気にしたらきりがありません。

細かなルールを次々に作るよりもおおらかに取り組む方がコミュニティならではの持ち味を発揮できるようになるでしょう。

みんなが、他人を気遣う心を大事にしながら取り組めたら、大丈夫です。

大丈夫ですよ。

遅れてしまつてすみません！

**4つ目は、自分たちの活動だ、という意識**

お客さんは一人もいません



この活動は一人一人が担い手です。ボランティアドライバーさんに送ってもらう方も例外ではありません。

自分よりも高齢の方を気遣ったり、一番高齢の方は、若い人たちを和ませたりしてみてください。なんでもいいので自分の役割を探し、やってみる事が大切です。この活動は誰のものでもなく、自分たちの活動だというしっかりとした気持ちを持っていただくことが大切なのです。それこそがこの活動の一番楽しいところなのです。



これから超高齢化社会が訪れます。



今以上の公共サービスや社会保障は望めないと思った方がよいでしょう。



そんな時、大切なのが地域の助け合いなのです。



この活動は、今のためではなく、5年後、10年後、更にその先の未来の地域のために実施していただく取り組みです。



私たちには難しい・・・と思うかもしれません。

とは、言ってもここの地域性は・・・

ちょっと自信が・・・



でもね、あんなに大きな被害のあった石巻でここまでできたのです。



この活動が始まった仮設住宅も復興住宅も抽選で住まいが決まったため、昔ながらのコミュニティがない状態からはじまりました。

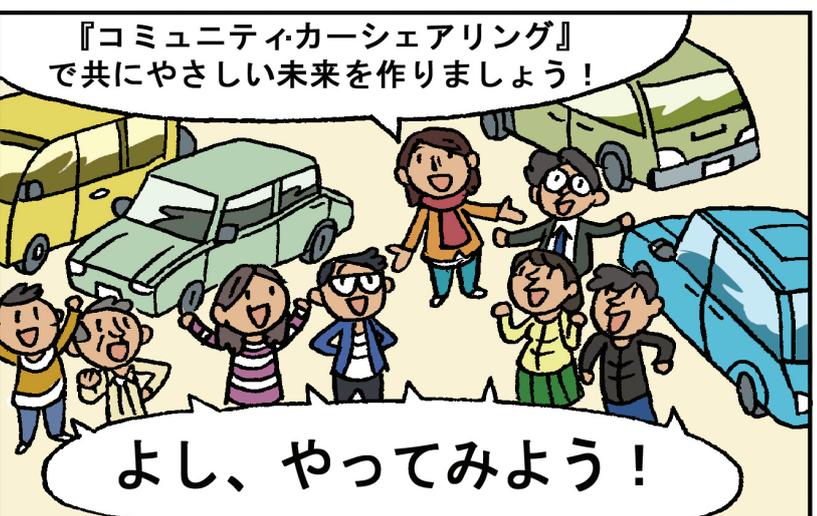


貴方の地域でできないはずがありません。

心配しなくても大丈夫。



全国からたくさんの支援をいただき励まされた石巻のみなさんが、今度は仲間として皆さんを励ます番です！



『コミュニティカーシェアリング』で共にやさしい未来を作りましょう！

よし、やってみよう！

# Q & A コーナー

よくいただくご質問に対してご説明いたします。

## よくある質問 BEST3



### Q. 事故の時、トラブルに発展しませんか？

A. 利用者の方には、取り組みの趣旨や性質について理解していただき、ご家族の同意書をいただいた上で参加いただくなど、できるだけトラブルに発展しないような仕組みとなっております。また、ボランティアドライバーの方々は、とても丁寧に運転してくださるので、これまで大きな事故は起こったことはありません。



### Q. 道路運送法に違反しませんか？（白タク行為となりませんか？）

A. 私たちは道路運送法に抵触しないために、東北運輸局にアドバイスをいただきながら取り組みの仕組みを作ってきました。「ドライバーが運送行為（運送行為=車両の提供+運転行為の提供）の対価を受け取っている」とみなされると、道路運送法に違反する白タク行為とみなされます。そのことを踏まえ下記の3点を考慮した仕組みとなっています。

1. 利用者はカーシェア会を通して自ら車両の共同使用者として車（使用権限）を持っており、ドライバーは運転行為の提供のみを行なうスタイルを採用しています。（運送行為ではなく運転代行）
2. 車両の共同使用にかかった経費実費のみを利用頻度に応じて平等に分担する互助の仕組みを採用しています。（事業性のある運営形態ではない）  
日々の運営に資金が必要なことと、精算の時にまとめた額の支払いがあると年金で生活されている方々にとって大きな負担となるために「積立」のルールを決めて、利用の都度積み立てを行い、定期的に精算することで実費分担の仕組みを維持しながら運営を行っています。
3. 送迎活動を行なうドライバーは原則ボランティア（無報酬）で活動していただいています。

以上のことから、運送行為を行わず、事業性もなく、ドライバーも対価を受け取っていないことから3重で適法性が確保されています。

### Q. バスやタクシーと競合しませんか？

A. 全くないとは言いきれませんが、私たちが確認する限り、それほど競合している状況ではありません。なぜなら、交通サービスとしては不完全だからです。ボランティアドライバーの都合を最優先しているため、事前に利用について予約が必要であったり、片道だけしか都合がつかない場合も多く、タクシーのように思いのままに使用できません。また、バスや自転車で移動できる方は、変わらず利用されていらっしゃいます。コミュニティが介在しているからこそ、個別の外出支援に関しては本当に困っている方が利用されるようになっているのです。一方、利用されている方は、外出頻度が増える傾向にあります。（詳しくはp33をご参照ください）結果、バスやタクシーの利用回数自体が減る人はとても少ない状況にあるのです。

## Q. 一般的なカーシェアリングとの違いは何ですか？

- A. 目的と車の使い方が違います。「コミュニティ・カーシェアリング」は支え合う地域を作ること  
を目的として外出支援や乗り合いでのお出かけや旅行など車を柔軟に活用します。

## Q. どんな効果がありますか？

- A. 地域コミュニティの活性化、QOL の向上、移動課題の緩和、地域活動の人材発掘等確認できて  
います。(関連するアンケート結果は P33 で確認いただけます)

## Q. 山間地域や過疎地では有効ですか？

- A. 私たちが取り組んできたのは、仮設住宅や復興公営住宅の集合住宅が中心のため、山間地域や  
過疎地での経験はやや不足しているのですが、岡山県美作市では人口約 140 人の山間地域の集  
落に導入することができました。

山間地域や過疎地域では移動距離や時間が長くなるのが特徴です。ドライバーの負担が大き  
くなりますが、協力いただける方がいれば、コミュニティがしっかりしているためお出かけの  
企画は盛り上がりやすいですし、積み立てのルールをしっかりと設定さえできれば、意外と運営  
しやすい側面もあります。

公共交通との連携を図ればドライバーの負担を軽減し、公共交通の利用促進につなげることも  
できると考えられます。

## Q. どれくらいの広さの地域で実施するのが適切ですか？

- A. 石巻の場合だと大体町内会一つ位の単位で実施する場合があります。小さな規模で始めて運営  
が難しい場合は、適切なエリアまで広げていただくようにしています。

## Q. メンバーは何人ぐらい必要ですか？

- A. 特に決まりはありませんが、石巻では大抵最初は 4, 5 人位から活動が始まり、それが 1 年位経  
つと 20 人位の活動になっています。最終的には 30 人位になると活動が比較的安定してくる傾  
向にあります。(最も多い地域で約 60 人の会員がいる地域もあります)

## Q. 町内会で運営するという事でしょうか？

- A. 町内会で運営していただいても構いませんが、そうでない場合があります。あくまで有志によ  
る地域のサークルとして立ち上がり、その立ち上げのサポートを町内会が行ったり、また、活  
動が立ち上がってからは、連携する等して地域を盛り上げていただいています。

## Q. シェアする車はどうしたらいいですか？

- A. 地域で準備いただくか、必要に応じて当協会で貸し出せます。導入サポートプログラムで導入  
を進める場合は、活動の立ち上げ期間は無償(車両の運搬経費は別途・期間の定めあり)でご  
使用いただけます。サークルが立ち上がってからはソーシャル・カーリースとして車を有償で  
借りていただきます。(一般的なカーリースと比べて借りやすい設定になっていると思います)

## Q. 運転代行を手伝ってくれる方なんて、地域になかなかいないのではないのでしょうか？

- A. 意外といいます。これまでの経験から言うと、100 世帯あれば、丁寧に探すと 3, 4 人ほどは協力  
してくださる方がいらっしゃいます。そういった方々に安心して活動いただける環境をしま  
り作ることが大切だと考えています。

# 挑戦したい地域が 挑戦できる環境を作る



私たちは「コミュニティ・カーシェアリング」に挑戦したい地域が挑戦できる環境を作ることに取り組んでまいります。私たちが実現したい環境（言い換えれば今の課題）は次の2つに集約されます。

## 1. 地域が導入のための補助を受けられることができるようにする。

既に様々な地域から導入の相談を寄せられており、これからも様々な地域で導入を進めていく予定をしています。ただ、スムーズに導入の話が進んでいくのは運よく行政側や民間の財団等が協力して下さり、導入のための補助を受けられることのできる環境にある地域であり、その環境にない地域ではなかなか前に進めることができないのが現状です。

一定期間、導入サポートを受けられることができれば、前向きな地域であれば活動を軌道に乗せることができます。また、地域交通・福祉・地域包括ケア等の様々な政策と連携できる活動の母体に発展する可能性も生まれます。

高齢化社会に対して持続可能な施策を検討している行政（自治体・都道府県・国）やそうしたミッションを有する民間財団等とぜひその体制構築を協働できたらと思います。

## 2. 地域が車を扱いやすくする（登録&保険契約しやすくする）。

p24の「車について」の所で説明したように、現状の社会では、任意団体は基本的に団体として車を扱えない実情（登録や保険契約が難しい）があります。このことが地域で専用車を使った助け合いを行いづらい環境を生んでいます。

保険に関しては、私たちの実績では、「コミュニティ・カーシェアリング」を実践している地域で大きな事故を起こした件数は未だゼロです。共有する車について、みなさん無理せずとても丁寧に運転されるため、一般的な法人より明らかに事故リスクが低いことは、様々な車の貸し出し形態を別の事業で展開している私たちは現場で実感しています。

高齢化社会において「地域での助け合い」を政策の中心の一つに据えようとする今、地域が車を扱いやすい環境づくりを進めることができれば多くの地域の力が増すことになるでしょう。行政や保険を扱う企業等とぜひその体制構築を共に行えたらと思います。



「導入補助」と  
「登録&保険」が  
環境づくりの  
テーマです。

# 第3章

## 資料編



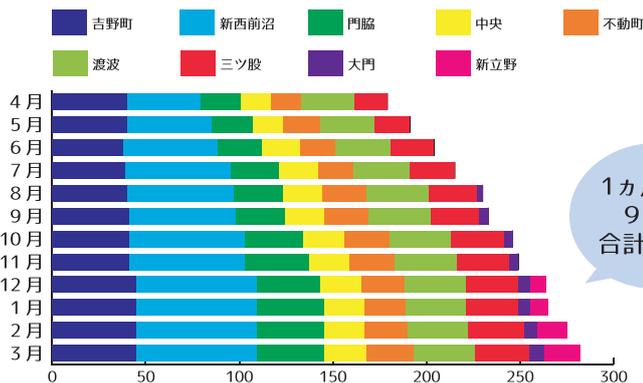
# データでみる『コミュニティ・カーシェアリング』

石巻で『コミュニティ・カーシェアリング』を実践している9地域の利用者の1年間の活動量やアンケート結果をご紹介します。

※大門カーシェア会は8月、新立野カーシェア会は12月に立ち上ってからの集計となります。※集計期間 2018年4月～2019年3月



## 会員数（人）

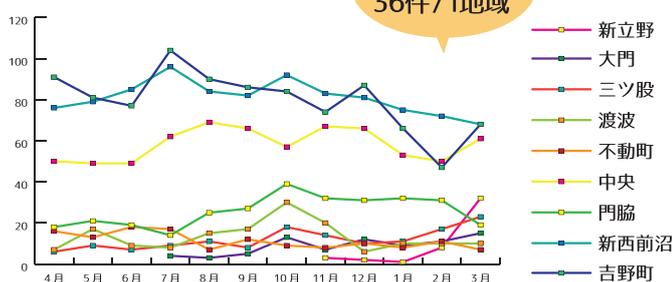


なんと、平均年齢74歳

1ヵ月平均9人増  
合計282人

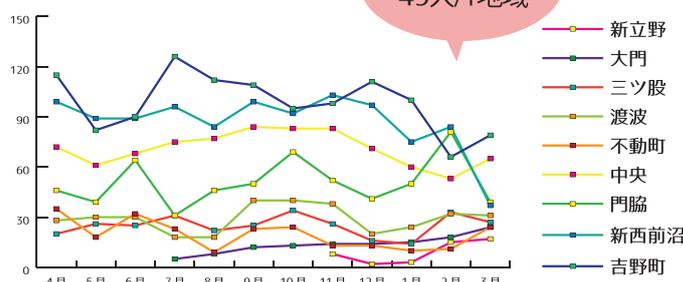
	平均年齢	男女比	会員数	月間平均稼働件数	年間稼働件数	延べ活動参加人数
吉野町	76歳	4:6	45名	80件	955件	1,183名
新西前沼	73歳	3:7	64名	81件	973件	1,044名
門脇	72歳	4:6	36名	26件	308件	608名
中央	76歳	2:8	23名	58件	699件	852名
不動町	77歳	3:7	25名	11件	136件	235名
渡波	77歳	4:6	33名	13件	159件	349名
三ツ股	72歳	1:9	29名	12件	143件	299名
大門	72歳	1:9	8名	10件	79件	123名
新立野	75歳	2:8	19名	12件	46件	45名

## 車の稼働件数（件）



1ヵ月平均36件/1地域

## 延べ活動参加人数（人）



1ヵ月平均49人/1地域

## 活動量（9地域 2018年4月～2019年3月までの12ヵ月間）

お出かけ回数:46回実施

2ヵ月に1回お出かけしている

おちゃっこ会:97回実施

1地域・1ヵ月平均/1回

買い物ツアー:126回実施

1地域・1ヵ月平均/1回

外出支援:3,847回実施

1地域・1ヵ月平均/40回

延べ活動参加人数:4,738人

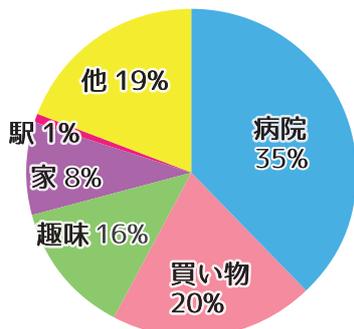
1地域・1ヵ月平均/49人

## 利用用途（9地域 2019年4月の利用用途集計）

※「家」は家族・親戚・友人等の家への訪問のことです。

### 稼働件数

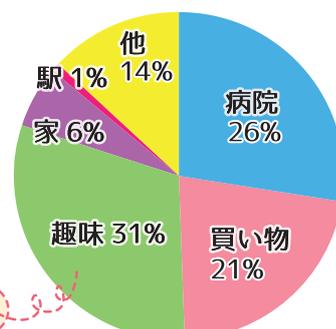
※買い物ツアー  
旅行含む



### 延べ利用人数

※買い物ツアー  
旅行含む

趣味は乗り合いで出かけることが多いため延べ利用人数の割合が特に高い



# アンケート結果

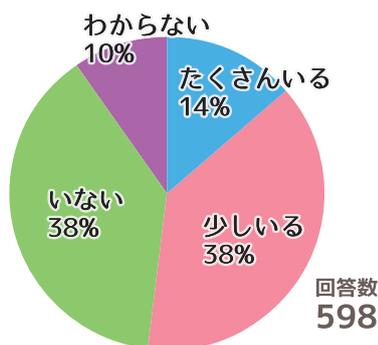
石巻市内の復興公営住宅及びその周辺地域に行ったアンケート結果です。

- 実施時期: 2017年2月～2019年3月
- 実施地域数: 12地域 ● 有効回答数: 各設問に※で表示

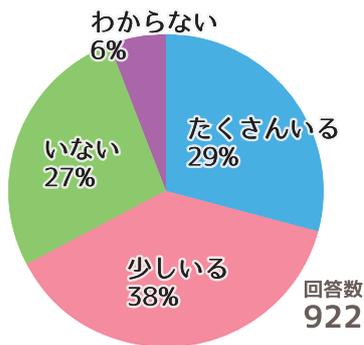
**コミュニティ** 導入によって個人・地域共に人間関係構築に大きな影響を与えている

## Q. 仲のいいお知り合いはいますか？

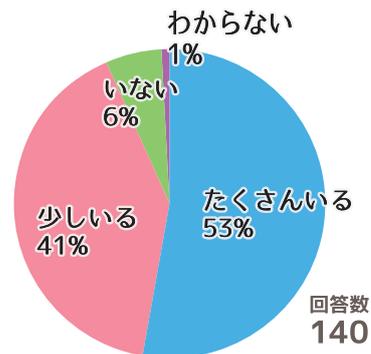
導入していない地域



導入している地域



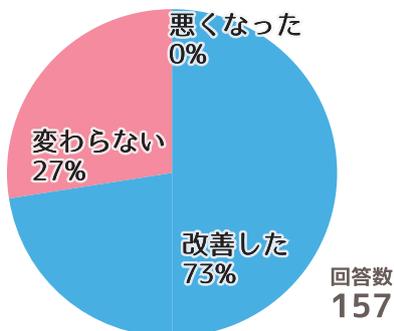
会員



## 移動

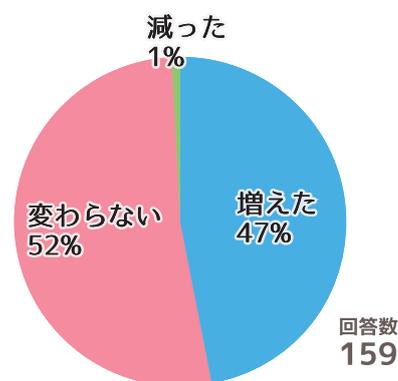
この取り組みによって移動の問題が改善し、外出頻度が増加している。

### Q. 移動の問題は改善しましたか？



元々移動に困っていない方も楽しむために一定割合参加している

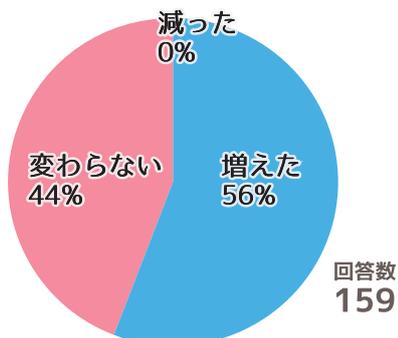
### Q. 外出頻度は増えましたか？



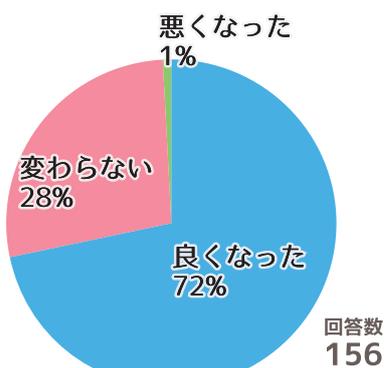
## 精神面

人付き合いや気持ちに良い変化があり、活動に満足している。

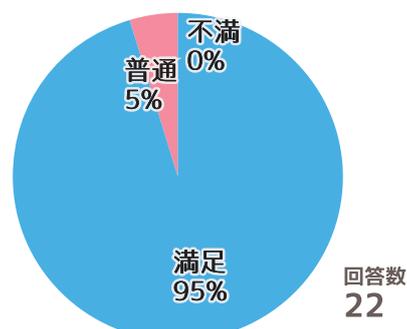
### Q. 日常的に挨拶や世間話をする人が増えましたか？



### Q. 気持ちに変化がありましたか？



### Q. 活動に満足していますか？



# 利用者インタビュー

\*

## 今が最高なんです。



【三ツ股カーシェア会】大野さん かね子さん ももちゃん 藤島さん ※左から

### みなさんが知り合ったきっかけを教えてください。

**藤島さん:**カーシェア会がきっかけです。ボランティアの人が「何か困っていることないですか？」って自宅を訪ねてきて、「買い物に困っています」って言ったら、カーシェアの説明会を案内いただいたんです。それで、カーシェア会が設立されて買い物ツアーに参加したり、お茶っこしたり。それがきっかけで、みんなと知り合って仲良くしています。

**ももちゃん:**落ち込んでいた時期があって、当時の班長さんが気にかけてくれてお宅に呼んでいただいたことがあったんです。その班長さんもカーシェアの会員で、その時に「ドライバーでもしてみたら？」って言われたのがきっかけでした。カーシェアを始める前は地域のみなさんとの交流はほとんどなかったのですが、今はおかげさまでいろんな繋がりが出来ました。



会で最高齢（95歳）のかね子さんはみんなの人気者

**かね子さん:**復興住宅に来る前は仮設に5年半いたんだけど、ショックで声がでなくなったの。でも、復興住宅に来て、カーシェアでみんなと知り合ってから気持ちが安心したのか自然と声がでるようになったね。みんな本当によくしてくれるの。お出かけも、買い物ツアーも楽しみだわ。あとドライバーのももちゃんが毎日1回は必ず私のところを覗いて見てくれる。息子は朝出て夜中に帰ってくるからね～。気にしてもらって本当に助かってる。安心よ～。

**ももちゃん:**かね子さん、昨日は草取りに行って帰ってきて「暑い暑い」っていうから、家からアイスを持ってきて食べてもらったんです（笑）

**藤島さん:**95歳なのに本当に元気でしっかりしていて。料理は上手だし。かね子さんは私の目標なんです。

### カーシェアができる前は、みなさんどういう風に過ごしていたんですか？

**大野さん:**こういう付き合いはなんにもないですよ。私も一人暮らしだから不安に思っていました。でも、娘にあまり負担もかけたくないとも思っていました。

**藤島さん:**みなし仮設から復興住宅に来たときは、知らない土地なので不安に思っていました。息子たちは仙台だし。カーシェアでみんなと知り合ってから普段の付き合いもするようになりました。カーシェアが無かったら、知り合っていなかったと思いますよ。

**大野さん:**カーシェアが無いとみんな家さ引っ込んでいると思うよ。やっぱり会に入ってやる限りは楽しくやりたくて。都合が悪い時は仕方ないけど、なるだけ協力するかなと思って。一生懸命やっているわけなんです。

### どんなカーシェア会にしていきたいですか？

**藤島さん:**今が最高なんです。お茶っこを開くとたくさん人が来るし、お出かけも買い物ツアーも楽しいです。みんなでこうやって集まっておしゃべりしたりするし。なので、このまま楽しいカーシェア会を続けていきたいですね。

# 次はどこに行くか、 いつもワクワクしています。



【新立野カーシェア会】 奥津さん

## 『コミュニティ・カーシェアリング』を利用しようと思ったきっかけは何ですか？

元々目がよくなかったのですが、昨年、医者に「失明する」と言われたんです。その時は本当にショックを受けました。ぼーっと座って「なんで私ばかり」と落ち込んでいたところに、息子にはっぱをかけられたんです。

「人には“諦めるな”というくせに自分は何だ」と言われて「なにくそ、やってやる！」と思いました。そんな時に『コミュニティ・カーシェアリング』のことを知りました。それまでは外出はおっかないと思っていましたが「チャレンジしてみよう」と参加しました。

実際に外出してみると、たまに転びそうになることもあるのですが、ゆっくり歩けば何とかかなるというのがわかって良かったです。今はカーシェア会のお出かけツアーにも行っています。

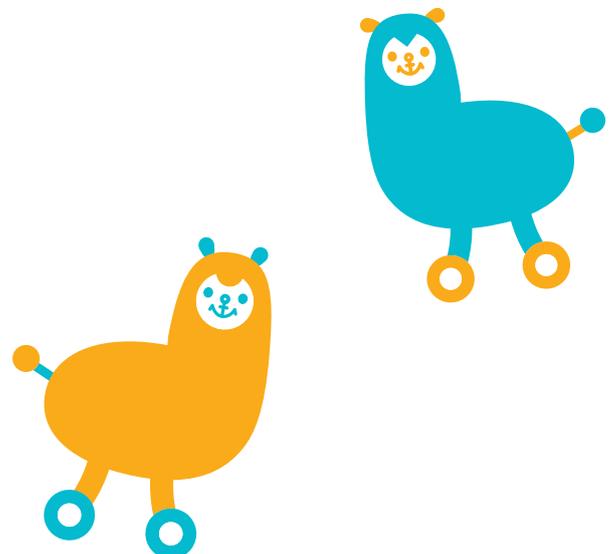
## 参加して良かったことは？

目が見えにくいのでバスは掲示板が見えなくて使っていません。カーシェア会の買い物ツアーが本当に助かります。毎回参加しています。

その時に、いつも同じツアーに参加する小國さんという方がいるのですが、いつも気づかって声をかけてくれるので助かります。目が悪いので近くに人がいても分からなかったり、買い物がゆっくりになってしまうんですが、親切に「こっちだよ」「あっちだよ」と声をかけてくれて。もともと小國さんとは接点がなかったけれど、カーシェアを通じて仲良くなりました。こういう繋がりっていいですね。あと、お出かけツアーが楽しみです。次はどこに行くかいつもワクワクしています。



買い物後の奥津さんと小國さん



# 利用者インタビュー

## ボランティアドライバー編



【渡波カーシェア会】 菅野さん

遠足みたいに楽しみにしている、  
あの表情をもらっただけで良かったなと思います。

### ドライバーになったきっかけを教えてください。

退職後に不動町のカーシェア会の会員だった叔母から「手伝ってみたら？」と声をかけられたのが始まりです。震災の時に母が津波に流されてしまって。これから親孝行しようと思っていたところだったのに、もうそれが叶わないという後悔がありました。ですので、せめて母と同じような世代の地域の人たちに返せたらという気持ちでドライバーを始めたんです。あと、私は学校の教員として働いていたのですが、恥ずかしながら在職中には地域のことは必要最小限しかやってこなかったのが、地域のために何もしてこなかったという負い目がありました。それと、震災でみんな仙台など他の場所に行ってしまったので、自分の地域のコミュニティを手助けできたらなと。ですので、地に足を付けて、自分のベースを再確認しながら、小さいことを一つ一つやっていきたいなと思っています。

### ドライバーをしていて良かったなと思うのはどんな時ですか？

やはり、利用者を目的地まで送り届けた際に「今日は助かった」と言われたときが一番ですね。あと、お出かけツアーでおじいさんたちがいい表情をしているんです。遠足みたいに楽しみにしている、あの表情をもらっただけで活動をはじめて良かったなと思います。

あと、会員のみなさんからいろんな話が聞けることですね。渡波の文化が面白いんです。わからない単語や物の文化など、昔ながらの話がいろいろ聞けるんですが、テレビのバラエティより面白いです。こういう話を聞けるところがなかなかないですね。

### 運転する上で気を付けていることはありますか？

安心な場を作ることです。「あ～、乗って良かったな」という安心して話せる雰囲気ですね。乗ってくれたお年寄りが安心していろいろ話せる場を作ることが大切だと思っています。

生きていれば全員が等しく1年1年老いに向かっていて、震災もあったし、いつ誰がどうなるかわからない。送迎をリクエストしてくれた人と、いろんな話をしたいし、話を聞いていきたいなと思っています。

### 今までで一番心に残っているエピソードを教えてください。

ある老夫婦を病院へ送迎した時のことです。おじいさんが手術をするそうなんです。車を降りて歩いている時に、奥さんがおじいさんを支えて、手を添えながら歩いていたんですね。その姿が忘れられません。結婚して40年、50年と長い時間を連れ添っても夫婦なんだな、と胸にこみあげるものがありました。

# 人生の最後くらい、 いいことしてえなあ と思っただ。



【新西前沼カーシェア会】 青山さん

## ドライバーをするきっかけは何だったんですか？

震災前は、部屋でテレビを見たり、お酒を飲んだり、パチンコをして過ごすことが多かったんだ。その頃は駅の近くに住んでいて車とかなくても生活できてたんだけど、震災があって仮設（住宅）が不便な場所だったから車が必要になったんだよな。

仮設でカーシェアの説明会をやって、それに参加して利用するようになったんだ。最初は自分の用足しだけで使ってたんだけど、そのうち、同じ仮設に住んでる人たちが移動で困ってるみたいだったから乗っていくようになったんだ。まあ、これまでろくなことしてこなかったから、人生の最後くらい、いいことしてえなあと思っただ。おばあさんを病院まで送ってることが多かったね。そうだなあ、7～8人くらいの決まった人たちを送っていったかな。

そのうち今度は復興住宅に引っ越したんだけど、この辺もバスの本数が少ないんだな、これが。俺も車が必要だったし、仮設の時に一緒だった人も何人が住んで、頼まれたりしたから、まあ、こっちでもカーシェアをやるようになったんだ。個人的には、月2回くらい施設に入っている兄貴の見舞いに使っている。今、年金で生活してんだけど、車の維持費があまり掛からないのは助かってるね。ドライバーは、都合が合えばできるだけ協力するようにしている。多い日だと1日に4組くらい送迎したこともあるかな。

## 大変じゃないですか？

うん、でも乗ってったおばあさんに「ありがとう」とか「助かりました」とか言われると、やっぱりうれしいね。震災前は町内会とかの地域の活動には全然参加してなかった。でもドライバーをやってるから、近所の人の名前を覚えたね。そのうち、復興住宅に団地会を作ることになって、引っ越した最初の年に団地会長をするようになってね。まあ、誰もやる人がいなかったからなかったんだね。

## 青山さんがボランティアドライバーとしてたくさんの方の役に立っているから頼られたんじゃないですか？

いやあ、どうだろうね（笑）

あと、地域で夏祭りをするんだけど、その実行委員もやってるよ。俺はテントを張ったり、当日チケット売ったりするのを手伝ったんだ。こういうこと手伝ったりすると少しは地域の役に立ってるんじゃないかって思うね。

## これからも活動を続けていきますか？

最近、目が悪くなって、送迎は休んでんだ。こないだ目の手術をしたんだけど、カーシェア会の人たちがお見舞い金をくれたんだ。みんな心配の電話もくれて。うれしいね。震災前の頃の自分からしたら、今、こんなに地域の人から気にかけてもらえることになるとは思ってもみなかったね。

今は予約の連絡を受けると、俺以外のドライバーを手伝ってくれている人に連絡してやってもらってるんだ。俺もたまにはその人の隣に座って道案内とかやってる。ドライバーをやってくれる人をもっと探さないといけないなと思っただけど。

## これからボランティアドライバーを始める人に何かアドバイスはありますか？

ドライバーさんには安全運転でスピードを出さないこと、マナーを守って頑張って欲しいね。例えば運転していて、こっちが直進で右折車がいた時に、右折車をゆずってあげるとか。感謝されるよ。こういう思いやりとかマナーが大事なんじゃないかな。



# 導入サポートプログラムについて

『コミュニティ・カーシェアリング』の導入と地域での自立運営化を CCS コーディネーターがサポートする導入サポートプログラムをご紹介します。

## ❁ 『コミュニティ・カーシェアリング』についてまずは詳しく知りたい方へ

### ① 活動紹介

当協会スタッフが現地に伺い、『コミュニティ・カーシェアリング』の取り組みについてご説明し、導入に向けてのアドバイスを実施。

### ② 視察

『コミュニティ・カーシェアリング』の現場視察を行った上で①と同内容の説明とアドバイスを実施。

※具体的な導入を前提としない（学術目的・啓発目的等）勉強会・講演・視察等も承っておりますので気軽にご相談ください。



## ❁ 『コミュニティ・カーシェアリング』の立ち上げのサポートをご希望の方へ

### ③ 活動立ち上げサポート

石巻で活用しているツールを使って活動の立ち上げに向けた事前調整・テスト運行等を現地への訪問及びオンラインで伴走支援。



導入に向けての打合せ



運輸支局への説明に同行



地域での説明会の実施

## ❁ 『コミュニティ・カーシェアリング』導入後のサポートをご希望の方へ （公認『コミュニティ・カーシェアリング』会員サポートプラン）

導入サポート後、継続して活動について情報共有いただける団体には、適切に『コミュニティ・カーシェアリング』の運営を実践している公認会員として登録いただき、会員同士の交流や継続したサポートを行っています。

### ④ 会員サポート

ツールの提供・各種関連情報の共有。

### ⑤ オンラインサポート

④に加えて、月1回の電話もしくはオンラインでのサポート対応(1時間程度)を提供。

### ⑥ 訪問サポート

⑤に加えて、月1回訪問でのサポートを提供。

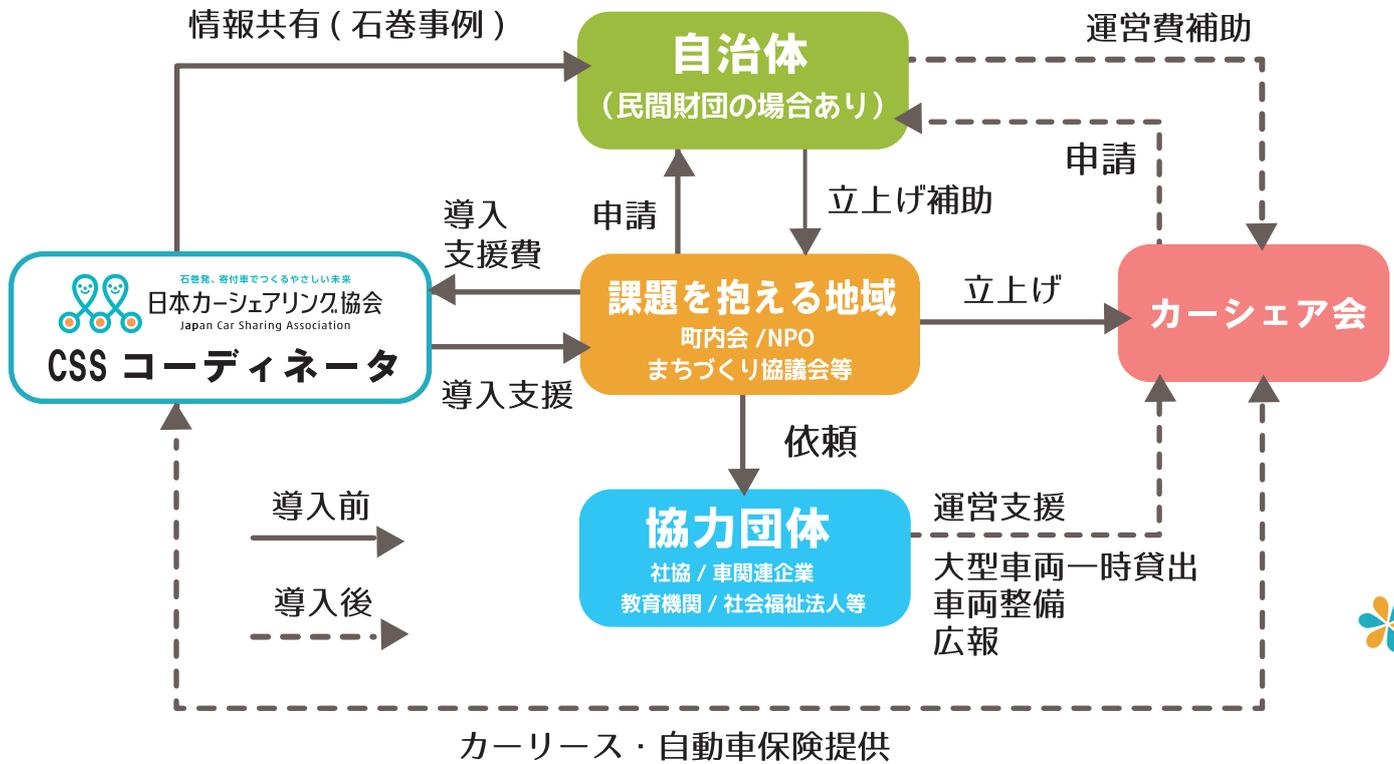
## ❁ 拠点を設けて『コミュニティ・カーシェアリング』の普及をご希望の方へ

### ⑦ サポートセンター設置プログラム

『コミュニティ・カーシェアリング』の運営・サポートの現地拠点を設けスタッフを配置するプログラム。

## 自治体や民間の財団等との協力体制の元での実施をお勧めしています

導入サポートプログラムは、課題を抱える地域だけで取り組むのではなく、自治体や民間の財団等と連携しながらまずは実証として一つの地域で行い、そのうえで政策的な連携を視野に入れながら、より広範囲もしくは複数エリアへの波及を目指し進めていくことをお勧めしております。



## プログラム利用者の声

移動支援を継続に実施する仕組みについて悩んでいたのですが、自分たちが元々地域で活動したことをそのまま生かしながらできたことが、本当に良かったです。

実践していく中で、色々と課題がでてくるのですが、そのいずれについても石巻などで経験されたことに基づいた生のアドバイスをいただけたことが大変参考になりました。

道路運送法について詳しく説明いただいたり、公的機関への説明にも同行いただけたことで、安心して活動に取り組めるようになりました。



岡山県美作市上山集落  
しちやろう会  
水柿 大地氏

より詳しい内容は裏表紙の連絡先までお問合せ下さい。

私達は、東日本大震災後の石巻で、寄付車を集めて地域の支え合い作りを続けてきた小さな非営利組織です。全国からのたくさんの支援を受けて生まれた『コミュニティ・カーシェアリング』を今度は全国の方々に恩返し気持を込めて、役立たせていくためにこの冊子を制作しました。この冊子が高齢化や移動の問題に向き合う地域の方々の一助になれば幸いです。

一般社団法人日本カーシェアリング協会 代表理事 吉澤 武彦



## 挑戦したい地域が挑戦できる環境づくりのためにご協力 よろしくをお願いします。

『コミュニティ・カーシェアリング』を通じた地域で車を使った助け合いを行いやすくなるような環境づくりを行ってまいります。この冊子のコンテンツの充実や増刷をはじめ、みなさんが実践しやすくなるような仕組みやシステムの開発、政策提言等も行なってまいります。この取り組みの協力者を『カーシェア・ピットクルー』と呼び募集しています。ぜひともご参画ください。

### [ 協力方法はいろいろ ]

- 一口以上のご寄付  
個人：3,000円 / 一口 法人：10,000円 / 一口
- 車両のご提供
- マンスリー・カーシェアサポーター（毎月定額のご寄付）  
個人：月々 1,000円～ 法人：月々 10,000円～

### [ クルー特典 ]

- ☆クルーステッカーをお送ります。
- ☆年に一度、活動報告書をお送ります。
- ☆クルーミーティングへご招待します。
- ☆当協会のレンタカーがメンバー価格でご利用いただけます。



### 振込先のご案内

#### ゆうちょ銀行から

口座記号：02220-9 口座番号：120559

#### 他の金融機関から

ゆうちょ銀行 二二九(ニニキュウ)支店

当座 口座番号：0120559

口座名義：一般社団法人 日本カーシェアリング協会

クレジット  
決済 ▶



マンスリー  
の申込 ▶



石巻発、寄付車でつくるやさしい未来

日本カーシェアリング協会

Japan Car Sharing Association

一般社団法人日本カーシェアリング協会

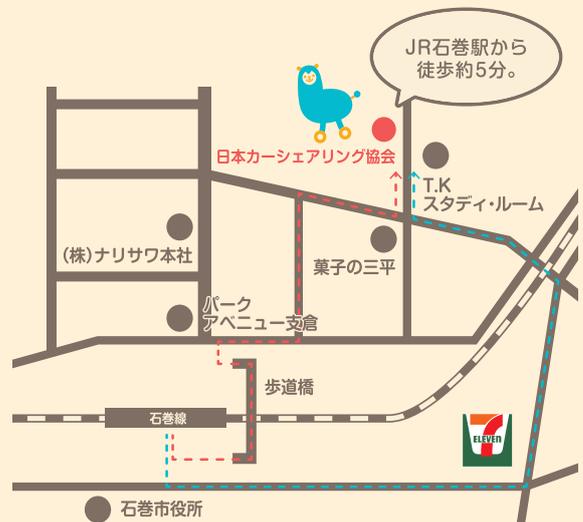
〒986-0813 石巻市駅前北通り一丁目5番23号

TEL:0225-22-1453 FAX:0225-24-8601

E-mail:info@japan-csa.org

HP:https://www.japan-csa.org/

HP▶



東日本大震災復興支援

JT NPO応援  
プロジェクト



この冊子は東日本大震災復興支援 JT NPO 応援プロジェクト の助成を受けて制作しました。